

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	井原市立高屋中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	0	6	16
生徒数	71	69	67	0	207	

研究の概要

1. 研究主題

学ぶ意欲を高める学習指導のあり方の工夫
～基礎・基本の定着と、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・全教科（すべての教科・教員で研究実践に取り組むため）

(2) 年次ごとの計画

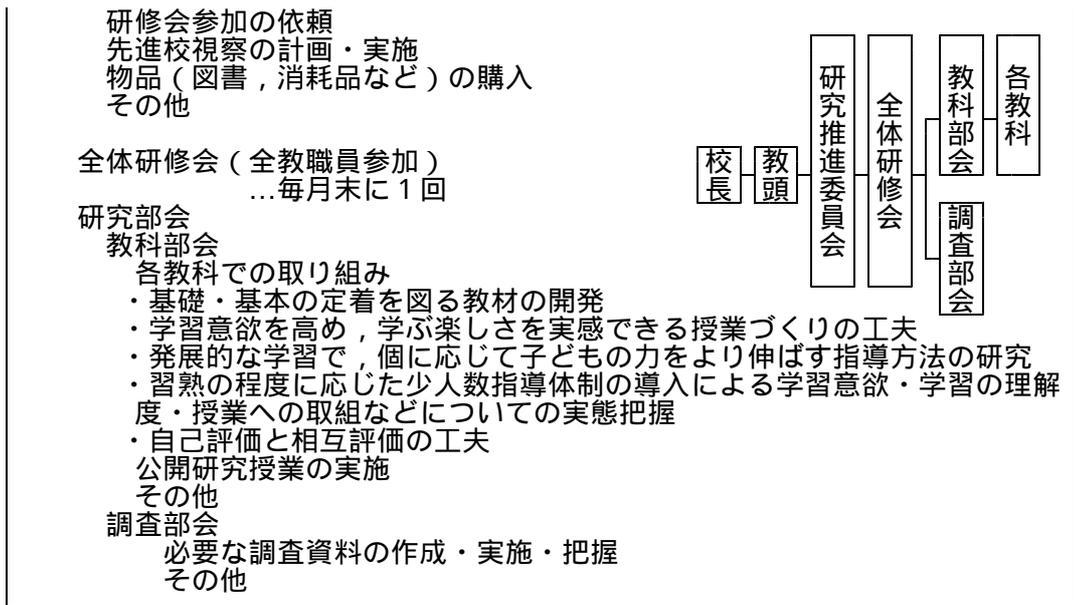
平成15年度	<p>テーマ 学ぶ意欲を高める学習指導のあり方 ～基礎・基本の定着と、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを通して～ 本校の学習実態の調査 学力向上に向けての各教科の取組の研究</p> <p>研究の見通し 「確かな学力」を身につけて向上させるためには、学ぶ意欲を高めることが大切である。そのために、まず、きめ細かな指導で基礎・基本の定着を図ることが求められる。また、発展的な学習や教材の工夫などにより、一人ひとりの個性や能力を伸ばす取り組みも大切になる。さらに、学ぶ楽しさを実感できるような学習を工夫して展開することによって、学ぶ意欲を高め、「確かな学力」を身につけ、学力を向上させることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 研究の重点内容 本研究は、「学ぶ意欲を高める学習指導のあり方はどうあるべきか。」を求めて、指導体制と指導方法の改善を図ったものであり、日々の授業実践を中心に捉えたものである。また、一部の教員だけの研究ではなく、全教職員の共同研究であることを念頭に置いて実践してきている。各教科とも、下記の(1)と(2)をもとにして、ねらいにあったテーマを作って取り組んでいる。</p> <p>(1) 基礎・基本の定着を図るための教材・教具の開発・指導方法の工夫 (2) 発展的な学習を取り入れ、学ぶ楽しさを実感できる教材・教具の開発・指導方法の工夫</p> <p>各教科ごとのサブテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科...基礎・基本の定着を図るための教材づくりの工夫 ・社会科...基礎・基本の定着を図るための教材づくり ・数学科...基礎・基本の定着を図るとともに、意欲を高める教材づくり ・理科...発展的な学習を取り入れ、学ぶ意欲を高める教材づくり ・音楽科...基礎的な表現能力の育成のための指導方法の工夫 ・美術科...生活の中にとけこむ作品づくりを通して、描くことや作ることへの意欲の向上を図る指導方法の工夫 ・保健体育科...体力の向上に意欲的に取り組む指導方法の工夫 ・技術・家庭科...生活に必要な知識と技術の学習に意欲がもてる教材づくり ・英語科...教師と生徒、及び生徒同士の英会話の充実を図る教材づくり <p>学力・学習についての実態調査</p>
--------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・全国標準診断的学力検査（NRT）の実施（1・2年，4月） ・本校生徒の課題アンケートの実施（教師，7月） ・学習についてのアンケートの実施（全学年，7月） ・教研式標準学力検査（CRT）の実施（1・2年，1月） <p>研究授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15・16年度の2年間で，すべての教科でどの教員も全員公開研究授業を実践する。 ・平成15年度は，理科（1年，TT），技術（1年）で実施（県教委より要請訪問，11月） その他 ・校内研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「確かな学力をつける指導と評価」 黒崎東洋郎先生（岡山大学教育学部助教授）（8月） ・先進校視察 石井中学校（8月・2名） ・研究会への参加 ・里庄中学校授業研究会参加（6月・2名，10月・2名，1月・2名） ・宇都宮大学教育学部附属中学校研究発表会参加（6月・1名） ・北九州市立石峯中学校フロンティアスクール実践交流会参加（10月・1名） ・連島中学校授業研究会参加（2月・1名）
--	--

平成16年度	<p>テーマ 学ぶ意欲を高める学習指導のあり方の工夫 ～基礎・基本の定着と，学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを通して～ 学力向上のための学習習慣と規律づくりの推進 個に応じた指導推進のための学習形態の工夫</p> <p>研究の見通し 「確かな学力」を身につけ向上させるためには，学ぶ意欲を高めることが大切である。そのために，まず，きめ細かな指導で基礎・基本の定着を図ることが求められる。また，発展的な学習や教材の工夫などにより，一人ひとりの個性や能力を伸ばす取り組みも大切になる。さらに，学ぶ楽しさを実感できるような学習を工夫して展開することによって，学ぶ意欲を高め，「確かな学力」を身につけ，向上させることができるであろう。さらに，この意欲は集団の中での成就感・達成感によりいっそう強まるであろうと思われることから，学習するのにより適した学習集団を構成することによって学習への意欲が高まるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 平成15年度の実践を踏まえて，効果のあった教材づくりの工夫や意欲的に取り組める指導方法の工夫についての研修会を開く。 異教科間でもお互いに授業を公開しあうことで，授業の改善を図り，学ぶ意欲を高める学習指導を工夫する。 習熟の程度に応じた少人数指導の推進を図る。</p> <p>公開授業研究会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽，保健体育，家庭科，英語（6月） ・国語，社会，数学，美術（11月） <p>学力・学習についての実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国標準診断的学力検査（NRT）の実施（1～3年，4月） ・教研式標準学力検査（CRT）の実施（1年，4月） ・学習についてのアンケートの実施（全学年，7月） ・教研式標準学力検査（CRT）の実施（1・2年，2月）
--------	--

(3) 研究推進体制

<p>学力向上フロンティア事業に関わる，講師を招いての校内授業研究会を開いて全体で共通理解を図るとともに，毎月末に学力向上についての研修会を開催し，各教科の取組の成果や問題点をあげて，それを改善する取組について検討を重ねている。</p> <p>研究推進委員会（校長・教頭・教務主任・学年主任で原案を立て，全体研修会において全教職員で研究計画の詳細を検討し，共通理解のもとで進めていく。） 研究の方針や原案の検討・作成</p>
--



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 教材づくりや指導方法の工夫を通して、授業の改善が図られるとともに、生徒の意欲が高まった。
- ・ 学力検査や学習についての実態調査を通して、本校の課題が明確にできた。
- ・ 少人数指導やTT指導などの個に応じた授業の推進により、学力向上を目指した具体的な取組が展開できた。
- ・ ワークシートや自己評価カードの活用などによる形成的評価を実施することで、生徒自らが毎時間の指導の目標を達成できたかどうかを客観的に判断できるようになってきた。

2. 今後の課題

- ・ 1月29日に実施した目標基準準拠検査（CRT）によれば、基礎的・基本的な内容についてどの程度到達しているかが明確にわかるはずであるが、今はその結果待ちである。その結果や、平成16年4月に実施する集団基準準拠検査（NRT）を利用して、本校の生徒の学力について多面的に把握し、指導方法や指導体制を改善していく必要がある。
- ・ 家庭学習の充実など、望ましい学習習慣の育成を図るための取組が必要である。
- ・ 平成16年度は、習熟の程度に応じてコースを設定した習熟度別少人数指導を取り入れるが、初めての試みであり、今後研究を重ねたい。

学力把握のための学校としての取組

- 定期的な学力検査の実施（年2回）
 - ・ 全国標準診断的学力検査（NRT）（1・2年生，4月）
 - ・ 教研式標準学力検査（CRT）（1・2年生，2月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 公開授業研究会の開催予定
 - ・ 平成16年6月15日(火) 予定教科...音楽・保健体育・家庭科・英語
 - ・ 平成16年11月26日(金) 予定教科...国語・社会・数学・美術

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 全教科 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無